

津波防災・減災について考えるシンポジウムを七ヶ浜町で開催しました（2022/11/6）

テーマ：新たな津波浸水想定，自治体との協創，防災・減災スタンプラリー
会場：七ヶ浜国際村（宮城県七ヶ浜町）

2022年11月6日（日）に、七ヶ浜国際村（宮城県七ヶ浜町）において、津波防災・減災について考えるシンポジウムが開催されました。今回は、2022年5月に公表された新たな津波浸水想定に関する講演会およびパネルディスカッションに加えて、実践的な防災教育として「防災・減災スタンプラリー」を実施いたしました。

講演会では、まず宮城県土木部河川課海岸整備班の佐藤正敏氏より、新たな津波想定に関する説明が行われました。次に、当研究所の今村文彦所長、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）、七ヶ浜町から寺澤薫町長、防災対策室の石井直紀室長の4名で、各テーマ（現在想定されている巨大地震津波、新たな想定を踏まえた津波対策・避難、徒歩避難・車避難、防災意識の向上）の議論が行われました。また、全体進行を当研究所のゲルスタ・ユリア助教（災害文化アーカイブ研究分野）が、運営補助を門廻充侍助教（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が担当し、100名を超える方が参加されました。スタンプラリーでは、（株）シヤチハタが産学連携により開発したスタンプラリーを用いて、保田真理プロジェクト講師（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が現地ワークショップを実施し、親子連れを含む約20名の方にご参加いただきました。



会場の様子



講演会の様子



パネルディスカッションの様子①



パネルディスカッションの様子②



防災・減災スタンプラリーの様子①



防災・減災スタンプラリーの様子②

文責：門廻充侍（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）